

分することができる。

①転移的保護作業場では、集中訓練が行われる。対象は、作業状況に適応し、労働市場へ十分通用するほど技術や生産性を持っている障害者を対象にしている。そして、一般雇用への進出を促進している。

②長期保護作業場 (extended, long-term workshop) は、労働市場が要求する技術や生産性を十分に開発できない障害者を長期的に雇用する機能を持っている作業場である¹³⁾。

そして、保護作業場の特徴により、

①転移作業場は、競争雇用への再雇用を果たすために職業的再適応や転移雇用に焦点を置いている作業場である。

②保護作業場は、競争雇用が難しい障害者のために雇用に焦点を置いている作業場である¹⁴⁾と区分できる。

次に、保護作業場の目的に従って五つに分類することができる¹⁵⁾。

①経済的類型：具体的に作業経験を提供することによって基本的な基準に当たるように働く機会を提供する。しかし、企業と類似した方法で運営されるものの、競争的、営利的追求的な組織とは違う。

②健康サービス類型：作業を通して心身の健康状態と機能を維持・増進させ、可能な限り最上のウェルビーイング（健幸）を達するようにする。一般雇用ができない重度障害者、難病患者、高齢者が対象になり、作業場での作業のみならず、生産品の商業的価値とこれに伴う労働者の成就感が重要なこととして見なされる。

③臨床的、治療的類型：精神病院で個人の技能統合のために使われている類型であり、また初期段階である。作業場では、患者の診断名ではなく、勤労者としての患者の技能が強調される。作業行動の変化のための作業適応訓練や一般的な行動変

化のために行動修正方法を使う。

④教育、訓練類型：児童期、青年期、社会関係および教育の機会に恵まれなくて、生活や仕事の基本技術を学べなかった人を対象にする。

⑤社会サービス類型：個人の社会的目的達成、あるいは生活の様々な側面の問題解決のために作業環境が活用される。

保護作業場は、障害者に単に雇用機会の提供のみならず、職業訓練、教育などの役割を果たしている施設として広く認識されている。保護作業場は、いろいろな類型に構成されているが基本的役割は、リハビリテーション機関として障害者の問題やその深刻さを軽減させる役割、障害者に競争雇用ができるように準備させ、最後には競争雇用に配置できるような役割、給料が出る保護雇用を提供する役割である¹⁶⁾。

また、保護作業場の機能については

①完全競争市場、あるいは、保護環境中での職業能力評価や適切な職務配置のために作業潜在力を評価する機能。

②完全雇用のために準備する機能。

③作業経験を通して作業準備プログラムを開発する機能。

④行動欠陥を直す職業適応訓練機能。

⑤技術訓練を提供する機能。

⑥身体技能を改善する機能。

⑦精神的健康を回復する機能。

⑧他のサービスを効果的に減らせるように準備する機能¹⁷⁾を持っていると述べられる。

さらに、Wallace Wallin によれば、保護作業場は、職業訓練と社会成長および人的開発のための総合的なプログラムを準備する施設として定義されている。その上、次のように8つの役割を述べている¹⁸⁾。

①職業開発や職業能力を向上させ、職業訓練によ

13) Goldenson 『Disability and Rehabilitation Handbook』 McGraw-Hill, 1978, p. 89.

14) 韓国障碍人再活協会 『重症障碍人保護作業場活性化方案研究』 1996.12.、15頁。

15) Nathan Nelson, op. cit., pp. 213~263.

16) Greenleigh Associates, Inc. "The Role of the Sheltered Workshop in the Rehabilitation of the Severly Handicapped" N. Y.: Greenleigh Associates Inc., 1976, p. 264.

17) George Nelson Wright 『Total Rehabilitation』 Little, Brown and Company, 1980, pp. 197~198.

18) J. E., Wallace Wallin 『Vocational Rehabilitation of the Mentally Retarded』 N. Y.: Charles C. Thomas Publisher, 1975, pp. 303~308.